

青年部で経営のヒントを
吸収+ジョブ・カードセンターを
活用し人材育成と確保に
取り組みました



商工会議所活用術

～ 経営者の身近なホームドクター～

本所を上手に経営に役立てている会員さんの事例を紹介します。
「商工会議所をどんなふうを活用すればいいの?」という方は必見です。

第7回

和光スポーツ

ひらかわ ともみ
平川 友美さん

所在地:長崎市岩川町12-3
TEL:095-844-4355
事業内容:スポーツ用品販売



青年部で信頼できる仲間を築き
商売のヒントを学ぶ

店舗を切り盛りする平川さんは、元中学校の教師という異色の経歴の持ち主。両親が営んでいたスポーツ店を手伝うために教師をやめ、商売の世界に飛び込んだ。

「店を手伝うようになったものの、これまでは違う環境で、何をすればいいのか全くわからず不安でいっぱいでした。これではいけないと思い、商売のヒントが何か得られるのではないかと、商工会議所青年部に入会しました」

入会後は、他の女性会員や先輩の支えもあり、活動に積極的に参加、すぐに青年部になじむことができた。

「青年部のメンバーは若手経営者や後継者ばかりで、いわば全員がプロフェッショナル。そんなメンバーに接するなかで、たとえ違う業界の話でも商売の考え方や方法に触れることができ、すごく勉強になりました。また、自分もあんなふうになりたいという目標になる先輩方や信頼できる仲間もでき、ネットワークが広がりました」



ました。困ったことがあったらすぐに相談できる相手を見つけたら、それは経営を続けていくうえでとても貴重な財産になったと思います」

ジョブ・カードセンターで訓練カリキュラムの作成支援を受ける

平川さんが課題の一つとして抱えていたのが有能な人材の育成と確保だ。

「時代とともに仕事のスタイルが変化する中で、若い従業員を雇用する必要があると感じていました。人を雇用するというのは小規模事業所にとっては、大きな課題です。従業員の生活を支える雇用主としての責任がありますし、人を育てるといったことはそう簡単では

ないからです」

従業員の雇用や育成に活用できる制度を探していた平川さんは、経営指導員に相談。ジョブ・カード制度の活用について提案を受け、人材育成のための訓練カリキュラムの作成支援を行なっている本所の長崎県地域ジョブ・カードセンターのサポートを受けることとした。

「相談後すぐに対応してもらい、訓練カリキュラムの作成サポートを受けました。カリキュラムを元に営業スタッフの育成にとりくみ、有期雇用であったスタッフを正社員にすることができました」

経営指導員からひとこと



経営支援課
松尾 洋介

平川さんは現在監事を務めるなど、青年部の中心メンバーとして活躍されています。九州最多の会員数を誇る長崎商工会議所青年部で多くのメンバーと共に活動することで得られるものが必ずありますので、ぜひ入会をご検討ください。

また、本所ではジョブ・カード制度をはじめ、雇用や人材育成のお手伝いも行なっていますので、一度お気軽にご相談ください。

●ご相談は
本所中小企業振興部まで ☎095-822-0111